

JR東海労ニュース

No.1401
2010年2月18日
JR東海労働組合

2010JR春闘シリーズ ②

ベア3,700円 定昇4,800円 夏季手当3.2ヶ月を勝ち取ろう!

2月18日、本部は「2010度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れ」に基づき第1回団体交渉を開催しました。

団体交渉では、趣旨説明を行い改めて3,700円のベースアップと夏季手当3.2ヶ月等を要求しました。会社は「交渉にあたっての考え方」を示しました。

次回団体交渉から具体的な交渉となります。職場の声を結集し、2010春闘勝利・要求獲得を実現しよう。

JR東海労の要求趣旨（概要）

JR東海の収益は、前年同期比割れとなったものの社員の懸命な努力によって、四半期純利益を1,015億円確保した。

新幹線の輸送量は1月の前年比で97%まで持ち直し、2月の前半では前年比100%とも報告されている。またJR東海の内部留保額は、総額1兆6,375億円、社員1人当たり6,074万円ある。ベア3,700円、夏季手当3.2ヶ月の要求に十分応えられる企業体力はある。

新しい人事・賃金制度を導入し定昇を4,800円としているが、来年度から減額される社員が出てくる。現等級経過年数による減額を撤廃することを強く求める。

会社側の考え方（概要）

経済は、平成20年9月のリーマンショック以降、幾分持ち直しているが自律性に乏しく失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にある。平成21年度通期の単体実績予想は、昨年7月の段階で営業収益を120億円下方修正し、対前年度比で971億円減の1兆1440円、対前年比で92.2%としたところである。従って効率的な業務遂行等を不断に取り組み経営体力を強化していく必要がある。

当社の諸手当を含めた賃金水準は大企業を上回る水準に達している。将来的な負担を伴うベースアップ等により賃金をさらに引き上げる事は極めて困難である。夏季手当も慎重な判断が必要である。

反弾圧・国政春闘を全力で闘おう!